

『届かないものたち』

夜が逃げるように朝が少しだけ遅く  
来るような青い日に

『死なないように努力する事が  
生きるという事なんだよ』と

淀んだ瞳の兎は呟いた

僕は部屋の片隅で縮こまり息を潜め

過ぎ去っていくものに想いをはせ

手を伸ばしてももう届かないものたちが

とても愛おしく感じて少しだけ悲しくもあり

大切な思い出たちが浮かんでは積み重なって

もうなにも零さないように揺れる心ですくい

そしてゆっくりと歩いていく

そしてゆっくりと消えていく